HOT NEWS　おかしいことは、おかしいと言う。

築地市場の移転問題は
ニッポンの安心・安全を脅かす大問題。
土壌汚染から日本の食卓と漁業を守ろう!

牛肉好きなアメリカの3倍。漁業国として知られる北欧のスウェーデンやフィンランドと比べても2倍。日本の国民1人当たりの魚介類消費量は、世界屈指です。

その日本を代表する魚河岸が、銀座から程近い築地に位置する東京都中央卸売市場。今や、海外の"トウキョウ・ガイド"にも写真入りで紹介される観光名所なのです。ちょっぴり老朽化している現在の建物を、落ち着いた雰囲気の煉瓦造りで改築して、フィッシャーマンズワーフを目指してこそ、望ましき公共事業。

ところが、「狭い・古い・汚い」と築地市場を迷惑施設扱いする東京都は、都市ガス製造工場跡地へと移転させる無謀な計画を、強行しようとしています。江東区豊洲の予定地は、過去30年間も石炭を用いて都市ガスを製造していた場所。売却に際して東京ガスから東京都に提出された土壌汚染状況報告書には、驚くべき有害物質の土壌溶出量が記されています。

別表で示したように、環境基準を遙かに上回る数値です。

水俣病を引き起こした水銀、多くの乳幼児が犠牲となったヒ素ミルク事件。揮発性のベンゼン、シアン、水銀は、常温でも気化します。有害物質が大量に含有された土地に、東京だけでなく全国に魚介類を供給する市場を移転させる必然性は有りません。まさに日本の食卓を脅かす一大事。

であればこそ、今から7年前、東京ガスは東京都に対し、「築地市場の豊洲移転は、基本的に受け入れ難い」「豊洲用地は工場跡地であり、土壌処理や地中埋設物の撤去等が必要」「大変な改善費用を要する」と文書で申し入れているのです。

現場主義・直接対話を掲げる新党日本は、築地の未来を憂う仲卸業の若手経営者、日本環境学会の会長らと現地を視察。土壌や水質の調査を行い、意見を交わしました。その模様は、インターネット・メディアのオーマイニュースで動画配信中です。

生活習慣病を防ぐ上でも現在、全世界的に日本食が評価されています。なのに、その本家本元の築地市場が、汚染地へと移転するなんて、笑い話にもなりません。そこで働く人々の健康被害も懸念されます。全国の漁業者に対しても失礼な話です。

安心で安全な社会であってこそ、日本に暮らす喜びと誇りを抱けます。「おかしいことは、おかしいと言う。」田中康夫の新党日本は、「怯まず(ひる)・屈せず・逃げず」の精神で、これからも邁進します。

移転予定地は環境基準を遙かに上回る土壌汚染が深刻

ベンゼン	1500倍	発ガン性	免疫毒性
シアン	490倍	青酸カリ	神経障害
ヒ素	49倍	ヒ素ミルク	変異原性
水銀	24倍	水俣病	生殖毒性
六価クロム	14倍	内臓疾患	鼻中隔穿孔
鉛	9.3倍	環境ホルモン	行動障害

2001年　東京ガス調査

●オーマイニュース
http://www.ohmynews.co.jp

※市場内の水産仲卸業者も73%が移転に反対しています。(2007年4月調査)

新党日本

長いものに巻かれない勇気。もう1人の自分が、冷静に見詰める視点。
描かれた2つの日の丸は、新党日本の心意気です。

サポーターを募集しています。

新党日本では、それぞれの地域から日本を再生しようと熱き志を抱く同志、サポーターを広く募集しています。
詳しくは下記までお問い合わせください。

電話:03-5213-0333　Eメール:goiken@love-nippon.com

新党日本HEAD OFFICE　〒102-0093　東京都千代田区平河町1-7-11 TEL.03-5213-0333 FAX.03-5213-0888
URL http://www.love-nippon.com/